

保育学科 主要科目の特長

2022年4月1日

教養教育科目

【キャリア教育】

本学独自の教科。マナー研修をはじめ、危機管理教育等、1年を通して学びます。外部専門家も招き、社会に出てから役立つ幅広い教養を身につけます。

基礎技能科目

【幼児体育】

幼児向けの曲に合わせたダンスや、遊びなど幅広い内容を学びます。実技形式により、幼児の体育指導の見方・捉え方や、保育現場で使われる施設・設備・遊具の種類に応じた活動の指導方法・管理などについて学びます。

【器楽（基礎・応用）】

基礎でピアノの基本的な知識や技術を身につけ、応用として保育教材に用いられる曲を「弾き歌い」できるようにグループレッスンを行います。

【基礎造形】

画材や道具の使い方を学び、絵や工作表現の基礎を身につけ、保育現場で使ういろいろな教材・玩具を制作します。

保育の内容・方法

【人間関係指導法】

現代社会の諸問題をとらえつつ、その社会の中で育つ子どもにとって「人との関わり」を育成していく保育施設の役割を学びます。

また、保育教材・グループワークなど、保育の実践に活かす活動が多く、改善点等を自分たちで見つける積極性も身につきます。

保育の対象・理解

【子どもの食と栄養】

子どもにとっての栄養の重要性はもちろん、現代の食にかかわる諸問題や食環境、食育の

重要性を学びます。また、講義を基にした調理実習で実践力を養います。

教育・保育実習

【教育実習】

1年次の実習では幼稚園現場で子どもと保育者との関わりを通じた観察・参加実習を行います。2年次には実際に子どもたちを指導する指導案をつくり責任実習を行います。

【保育実習】

保育実習Ⅰでは保育所や児童福祉施設の実際を学びます。保育実習Ⅱ・Ⅲでは、責任実習を通して実践的な技術・知識を身につけます。

ゼミナール

【ゼミナール】

学生が主体的に課題を設定し、絵本・玩具等の制作や、少子社会・地域子育て支援等に関する研究レポートの作成を行います

専攻科 主要科目の特長

2022年4月1日

介護

【生活支援技術】

自立に向けた移動・移乗、身じたく、食事、入浴・清潔の保持、排泄、休息・睡眠など主に身体に関する生活支援の基礎技術及び実践態度を習得します。

こころとからだのしくみ

【こころとからだのしくみ】

介護実践の根拠となる人間の心理や人体の構造・機能および生活場面における観察力、判断力に必要な変化に対する気づきの視点、心身の機能低下や障害が生活に及ぼす影響、医療職との連携のポイントを学びます。また、疾病の発生メカニズムを知ることによって予防の視点も学びます。

人間と社会

【社会の理解】

個人の自立した生活の営みを理解するため、個人・家族・近隣・地域・社会という単位で人間を捉える視点を身につけ、社会と生活のしくみを理解します。また、介護保険制度をはじめ、様々な課題を抱える利用者が活用できる諸制度について学びます。

医療的ケア

【医療的ケア】

医療の発達や住み慣れた環境で過ごしたいという社会ニーズに応えるために介護福祉士養成課程において医療的ケアが必修となりました。利用者にとって安心、安全な医療的ケアが提供できるよう、医療的ケアに必要な知識、技術、心理的な理解の修得のため、講義50時間と実技演習を行います。

実習・国家試験対策

【介護実習】

最初は訪問介護実習で、在宅で暮らす人の生活とニーズを理解するところからスタートします。その後、高齢者施設等で基本的な生活支援技術を習得する実習を5日間実施します。最後の19日間の実習で、受け持ち利用者様の個別介護計画を立案・実施・評価を行います。